学校番号	T1208

平成31年度　　家庭科（専門）

教科	家庭（専門）	科目	生活と福祉	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	社会福祉基礎　（実教出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎時間、練習問題、参考プリントを配布して進めていくので、休んだ生徒はもらいにくること。（テストにでます）
・配布したプリントはファイルを用意してつづらせる。定期考査後に提出してチェックする。
・実習時は
　① 安全に十分配慮して積極的に取り組むこと。
　② 健康管理に注意する。
（施設などを訪れる時には、高齢者、障害者、小児との関わりもある。風邪など体調不良の際は、実習に行くことができない。）

２ 学習の到達目標

（１）家庭の生活にかかわる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させ，生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに，生活産業を取り巻く，諸課題と主体的，合理的に，かつ倫理観をもって解決し，生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育む。
（２）高齢者の健康と生活，介護などに関する知識と技術を修得させ，高齢者の生活の質を高めるとともに，自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生活産業を取り巻く諸課題について関心をもち，その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。	生活産業を取り巻く諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，生活産業に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。	生活産業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，生活産業に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用している。	生活産業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，生活産業の社会的な意義や役割を理解している。
評価方法	・出席状況 ・ノート等の記述 ・授業態度 ・課題の作成や発表	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査	・実習の技能 ・定期考査 ・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ等の記述	・定期考査 ・実習後の感想 ・課題の作成や発表

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	人の一生と生活・健康	健康の概念		○		○	d:WHO 憲章の健康の定義について，身体的・精神的・社会的な側面から理解する。 b:健康の成立要因について理解し，生活習慣と関連づけて考察する。 基本的人権や生存権について理解させるとともに，その権利を保障する取り組みについて考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		ライフステージと健康管理	○			○	a:各ライフステージにおける健康課題や目標を参考に自身の課題を考える。 d:健康診査や検診などの健康管理の必要性を理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
	高齢化の現状と高齢者の特徴	高齢化の現状		○		○	b:日本の高齢者福祉が，国際的にみてどのような特徴をもっているのかを考察する。 d:人口の高齢化はなぜ起こるのかを理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		高齢者の心身の特徴と病気			○	○	c:加齢による心身の変化とその特徴を疑似体験する。 d:高齢者の病気の特徴や事故の特徴について理解する。	・実習の技能 ・ノート等の記述 ・課題の作成や発表
		高齢者の生活課題と施策		○		○	b:高齢社会に対する施策を理解し，考察する。 d:高齢者人口の増大や高齢期の長期化に伴う所得，仕事，健康問題，介護，社会参加などの生活課題を理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
	高齢者の自立生活支援	自立生活支援の基本となる考え方	○	○		○	a:個人の尊厳について積極的に話し合う。 b:介護のあり方を考察する。 d:ノーマライゼーションやユニバーサルデザインなど社会福祉の基本的な考え方を理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		高齢者介護		○		○	b：介護が長期化したときの家族に対しての支援や福祉サービスを利用するなど長期の介護体制の確立が大切であることを考察する。 d：麻痺・視聴覚障害・認知症などがある高齢者の介護を理解する。 地域や生活のなかでのリハビリテーションについて事例を通して理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査

後期	高齢者支援の法律と制度	社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ		○		○	b:高齢者福祉のあゆみを理解し，特に老人福祉法や介護保険法の目的や理念，具体的な施策について考察する。 d:日本の高齢化の進展状況を把握し，高齢社会に対応した社会保障や社会福祉制度を理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		介護保険制度				○	d:介護保険制度のおもな介護サービスやサービス利用までの流れについて理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		高齢者支援と地域包括ケアシステム		○			b:高齢者支援のさまざまな制度について理解し，その課題について考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
	介護・看護の実習と生活支援	介護の実習			○		c:高齢者にみられる心身の変化に対応した体位変換，歩行介助，車いすの移乗・移動，食事，ベッドメーキング・シーツの交換，衣服の着脱，身体の清潔方法など基本的な介護技術を習得する。	・実習の技能 ・ノート等の記述 ・課題の作成や発表
		看護の実習			○	○	c:体温・脈拍・呼吸・血圧測定など看護の基本的な 技術を習得する。 d:家族が病気になったときの基本的な看護の心構えを理解する。 　熱中症やのどにものが詰まったときなどの応急手当について理解する。	・実習の技能 ・ノート等の記述 ・課題の作成や発表
		生活支援			○	○	c:高齢者が地域で自立した生活を送ることができるように，調理，衣類の洗濯や補修，掃除，買い物など生活援助に関する技術を習得する。 d:高齢者にかかわる消費者問題について，ロールプレイングなどの演習を通して，対応や防止方法を理解する。	・実習の技能 ・ノート等の記述 ・課題の作成や発表

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。